て大氷に打きたるものの死したる事も数をしらず
訴る大変の中にも氷雑にて溺たる打しもあり前橋
分東中通り茶屋溝呂末辺ハ見るしだりにて夕
六ツ時氷風解り雪止みて活人業場の忌ひを生
きり
前橋於ける諸所にて御代官地惣る七十五ヶ村雑をげ
しく人ゟ請ける其難を指す雪有て蔵に氷の大サ
夜家村ゟ出たるハ凡五合拝のめて重サ四百九十匁
一雑洛かん村のハ三百八九十匁位小お村も又三百八
十匁雑とも打又翌る相改り不氷の深サ日向も
一尺五寸日底も二尺五寸雑もあるしとも

○高家五年七月廿八日未刻より大風雨増しさかん
にして三條より四條五條の川筋流矢いなし家も
一本も数多流れ六條洛の経過まで堀川かたの川
まで満ちて洛中の大水大方なしで親と様子と
共ひ或ハ家相ゟよりささしまのがりおそしと
金家を防ぎ其ゟ辰の刻迄洛さかんにして
小山より御見南都迄ゟる大蓋にて家流三本を
流し今水増さかんにして其夜九天雨淀地四ヶ所
八幡堀三ヶ所切房橋之より神ゟ有ゟ言ゟ社辺
迄八幡川西宮生津本津川迄其ゟ有ゟ雑と家流通
洛雑敬ゆうしも廿七日注其ゟ家流平ゟ有ゟ人ゟ業

[illegible]

○嘉永六丑年七月遣[illegible]但馬[illegible]

貸米帝候之後前之[illegible]

一万石以上以下[illegible]

丑迄[illegible]

用[illegible]

公[illegible]

右年限中[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]